



日 時 2020 年 10 月 24 日 (土) 10:00～12:00
 場 所 鶴瀬公民館 ホール
 講 師 鳥海謙一 氏(生涯学習課長)
 参 加 者 21 人

「行政と市民生活」第4回はコロナ禍のため延期になりましたが、東京オリンピックの開催と言う節目の年に当たり、オリンピック関連の講座としました。

テーマは「元気市民との生涯スポーツ計画ーオリンピック・パラリンピックについてー」とし、鳥海謙一氏(生涯学習課長)をお迎えして行なわれました。



講師 鳥海生涯学習課長

当日のタイムスケジュールは

- 1 オリンピック・パラリンピック全般説明
- 2 休憩
- 3 セルビア (ホストタウン) 説明
- 4 質疑応答
5. 閉会

講義は前半オリンピック・パラリンピックについての全般説明、後半はセルビア共和国のアナ・ロゴさん(埼玉大学院生、留学生)によるセルビア共和国(ホストタウン)の紹介で進められました。

1. 前半の講義

1. オリンピック・パラリンピックについての全般説明

- ・オリンピック、パラリンピックとは
- ・シンボルマークの説明
- ・オリンピック、パラリンピックの歴史
- ・富士見市のオリンピックと活躍選手
- ・聖火リレー
- ・オリパイベント、サポーター

2. 生涯スポーツについて

- ・生涯スポーツとは
- ・富士見市スポーツ推進計画
- ・本計画におけるスポーツの定義

3. ホストタウンの取り込み

- ・ホストタウンとは、その取り組み
- ・セルビア共和国のホストタウンとしての活動

4. 事業効果～レガシー創出

2. 後半の講義

1. セルビア共和国について

- ・セルビア共和国の概要
- ・気候
- ・伝統文化
- ・食べ物
- ・スポーツ
- ・祭り



アナ・ロゴ氏埼玉大学院



【アンケート集計結果】

総参加者	21人
受講生	15人
アンケート回収	10人（回収率67%）

Q1. 今回の講座、受講をされて満足されましたか。

1. 大いに満足	5（56%）
2. 普通	3（33%）
3. 不満	1（11%）
	9（100%）

Q2. 不満と回答された方にお尋ねします。

回答 講義内容に不満

Q3. ご不満の内容を具体的に記入ができましたら、お願いいたします。

富士見市の生涯スポーツの課題と現状を聞けなかった（60代男性）
講座は「大いに満足」だが生涯スポーツが聞けなかった（60代男性）

Q4. 来期以降の「行政と市民生活」講座について、取り上げてもらいたいテーマがありましたら記入お願いします。

記載なし

Q5. 回答者の所属についてお尋ねします。

① 女性	3	① 50歳以下	0
② 男性	8	② 50～60歳	1
		③ 61～70歳	1
		④ 71歳以上	8

Q6 市民大学に対する要望や「行政と市民生活」に対する提案ご意見を記入下さい

今日は楽しかった（70代女性）



【講座のあらまし】（講座説明資料パワーポイント抜粋掲載）

1. オリンピック・パラリンピックについての全般説明

1. オリンピック（五輪）とは



オリンピックは4年に1度開催する世界最大のスポーツイベント

世界中の国と地域の人が集まりスポーツを通して心と体を鍛え合い
交流しあって、世界の平和を目指す

国や人種、性別、身分などで差別されことなく、正々堂々と力の
限り競い合うところが、オリンピックの素晴らしさ

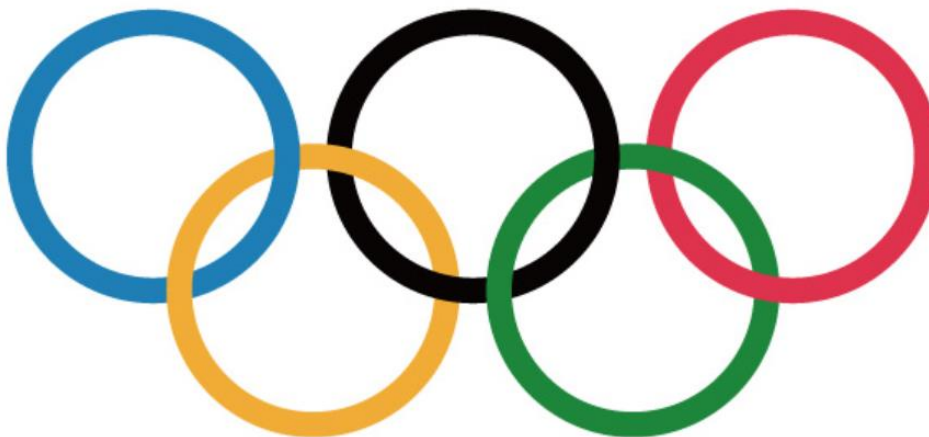
2. オリンピックシンボル（五輪マーク）

五個の輪：五大洲（ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセニア、アフリカ大陸）

W の 形：world（世界のW）

五 色：自然現象 水（青）、砂（黄）、土（黒） 木（緑）、火（赤）

スポーツ 水分（青） 体力（黒） 技術（黄） 情熱（赤） 栄誉（緑）



3. オリンピックの誕生（歴史）

- ・ 1896年に始まった近代オリンピック。その前身は、古代ギリシアで行われていた「オリンピア祭典競技」いわゆる古代オリンピック。 当時は宗教行事（神様をあがめる）でスポーツや芸術のお祭りだった。
- ・ オリンピックが4年に1度開かれる理由は？ 古代ギリシア人が太陰暦を使っていたから。（八年の半分）
- ・ 競技は約192mを走る競争の一つだけ。

4. パラリンピックとは？



パラリンピックは障がいのある人が参加する、世界最高峰の障がい者スポーツの祭典

共生社会を実現するための重要なヒントが詰まっている大会であり、社会の中のバリアを減らしていくことの必要性や発想の転換に気づかせてくれる

選手一人ひとりの障がいに違いがあるため、なるべく同じ条件で、公平に競技ができるように、障がいの程度などによってクラス分けされる工夫がされている

5. パラリンピックのシンボルマーク

このシンボルマークは「スリーアギトス」と呼ばれています。「アギト」とは、ラテン語で「私は動く」という意味で、困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。

赤・青・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれました。



6. パラリンピックの誕生（歴史）

- ・ 1948年7月29日、ロンドンオリンピック開会式に合わせ、イギリスのストー

ク・マンデビル病院で16名（男子14名・女子2名）の車いす患者（英国軍人）がアーチェリー大会を開催した。これがパラリンピックの原点。

- ・ 1952年国際大会として開催した大会を第1回パラリンピックと呼ぶ。戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で始められた。

7. ◆パラリンピック競技種目 : 夏22、冬6



8. 東京オリンピック大会開催決定

- ・ 61年前の1959（昭和34）年5月26日西ドイツ（当時）のミュンヘンで行なわれたIOC（国際オリンピック委員会）総会で投票。1964年第18回オリンピック開催地に東京が決定した。
- ・ 2013年9月7日、ブエノスアイレスで開催され、第125次IOC総会にて開催地選定投票が行われ、2020年の開催都市が東京と発表された。

9. 東京2020大会・選手村



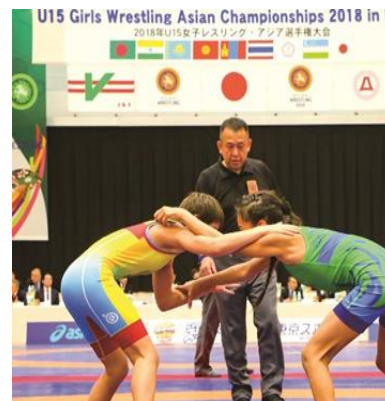
10. 富士見市のオリンピック



レスリング金メタリスト
小原 日登美 選手



男子柔道(視覚障害)
高橋 秀克 選手



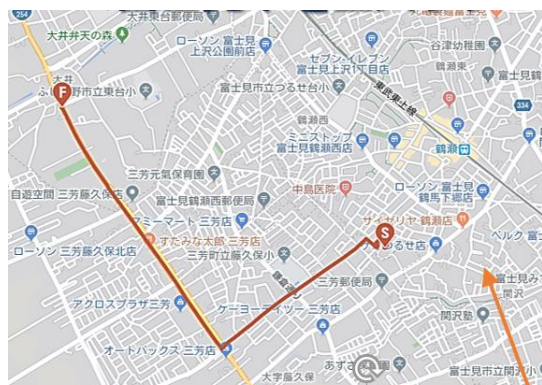
日本ハンドボールリーグ
(大崎電機ホームゲー

11. オリパラ2020競技大会関連 (7.28&8.25)

1年前イベント事業開催



12. 富士見市を聖火リレー



R3年7月6日(火曜日)
「鶴瀬西ゆうゆうの丘公園」をスタートし
三芳町・ふじみ野市へ



聖火ランナー
中谷 奏空 さん



13. 東京2020コミュニティライブサイト開催 競技中継や競技体験会等イベント（2021年予定）

場所：市民総合体育館

日時：大会期間中（7/23～8/8、8/24～9/5）の土曜日・日曜日・祝日
メインに実施

主な内容

- ・競技のライブ中継
- ・競技体験会（レスリング、ハンドボールほか）
- ・セルビア写真展&料理提供
- ・競技解説
- ・キッチンカーの出店
- ・ステージイベント（富士見高校）



14. 富士見TOPサポーター

**現在登録者数
約130名**

**世界のトップ
アスリートを
おもてなし**

**セルビア人
保育士、通訳
大型自動車免許
市役所職員 等々**

2. 生涯スポーツについて

1. 生涯スポーツとは

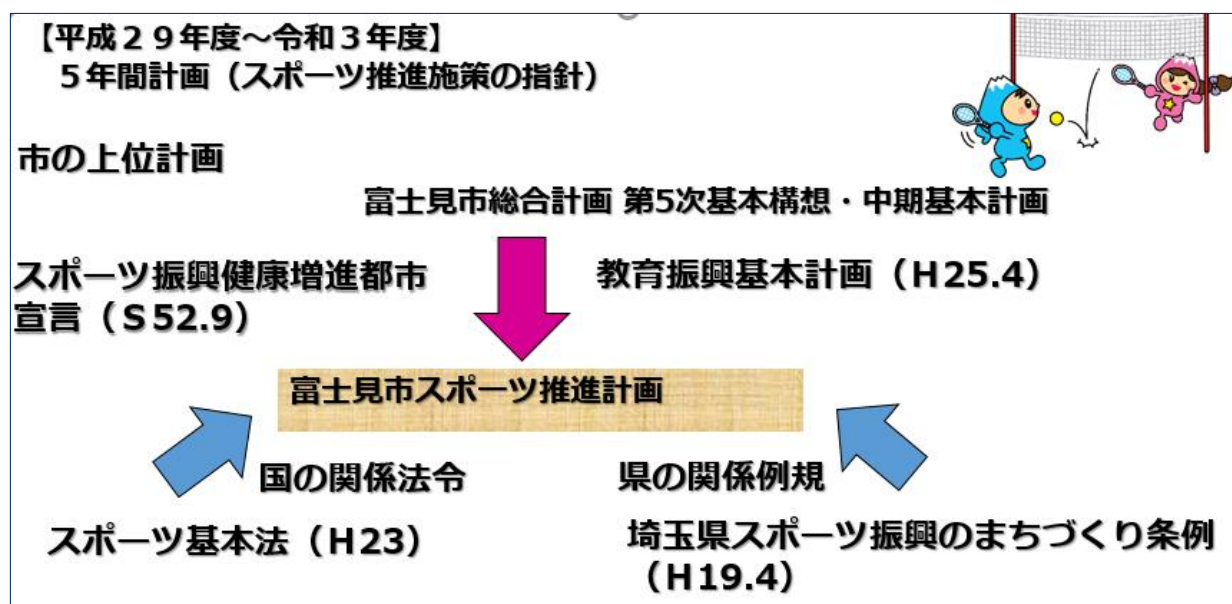
生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツをいう。

スポーツ基本法では、すべての国民にスポーツをする権利と楽しむ権利があることを明確にし、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものと示されております。単に体を動かすだけでなく、人々に「楽しさ」や「喜び」をもたらす重要な役割を担っている。

※スポーツ基本法（平成23年法律第78号）抜粋

2. 富士見市スポーツ推進計画

スポーツでキラリ☆と健康！！



3. 本計画におけるスポーツの定義

対称：子どもから高齢者、障がいのある方まで

- ①「する」スポーツ
- ②「観る」スポーツ
- ③「支える」スポーツ

※年齢、レベルに関わらず自らの意志で目的を持って体 を動かす行為

3. ホストタウンの取り組み

1. ホストタウンとは



東京大会の開催により、多くの選手・観客等が来訪する機会にスポーツ・文化・経済等の多様な分野において交流し、地域の活性化に活かす。2021 年を越えた末永い交流の実現を図る。

ホストタウン登録数 432 件
自治体 503 市町村（9 月末現在）

2. 共生社会ホストタウンの取り組み

共生社会ホストタウンとは

パラリンピアンを受入を契機に、各地における共生社会の実現に向けた取り組みを加速させ、2021 年以降につなげていくもの。

- ・パラリンピアンとの交流
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり
- ・心のバリアフリー



共生社会ホストタウン登録数 92 件
自治体 96 市町村（9 月末現在）

3. セルビア共和国のホストタウン

共生社会ホストタウンに登録



【セルビア共和国】
首都：ベオグラード
人口：約 800 万人
面積：北海道とほぼ同じ



H30年7月セルビア共和国を訪問
事前キャンプ開催の協定を締結

4. ◆ホストタウン事業

1. セルビア語講座&料理教室



2. 富士見市×セルビア共和国

ホストタウンフレーム切手を発行



3. パラリンピアンとの交流



4. セルビア出身ソプラノ歌手リサイタル



セルビア人ソプラノ歌手
エフゲニア・イエレミッチ氏

2月18日(火)19:00～
キラリ☆ふじみマルチホール

ピアニスト
福田 里香 氏

5. 各種競技の事前キャンプを実施



レスリング競技は3選手が
出場権を獲得!!

ステヴァン・ミチッチ選手
(フリースタイル57kg級)

マネ・ネメシュ選手
(グレコローマン67kg級)

ミシャ・カジャヤ選手
(グレコローマン97kg級)

6. 各種競技の事前キャンプを実施



女子ハンドボールチームは
出場権獲得を目指して奮闘中!!

НАПРЕД СРБИЈА
がんばれセルビア

4. 事業効果～レガシー創出

- ・スポーツを「する・観る・支える」まちづくりへの貢献



オリンピック・パラリンピックという絶好の機会を活かし、競技体験や競技観戦、選手との交流などを通じて、市民一人ひとりがスポーツの素晴らしさや感動を心に刻み、スポーツに関心を持ち、親しむきっかけを生み出します。

- ・国籍や障がいの有無など垣根のない共生社会の実現

国際・文化交流など様々な面での人と人とのつながり、共生社会ホストタウンとしての取り組みにより、オリンピック・パラリンピックを一過性のスポーツイベントとして終わらせることなく、誰もが暮らしやすい共生社会の実現につなげます。

2. 後半の講義 （セルビア共和国について）

СРБИЈА

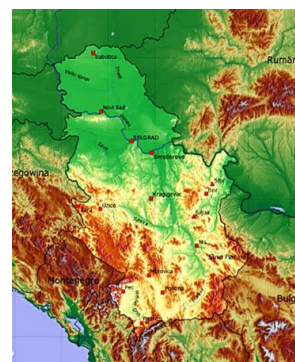
セルビア共和国

SRBIJA





講師 アナ・ロゴ



セルビア共和国

- 正式な名前はセルビア共和国といい、東ヨーロッパにある
- 8つ国に囲まれている
- 首都はベオグラード
- セルビアには約800万人が住んでいる
- 言語はセルビア語で、文字はキリル文字
- 面積は北海道と同じくらい



首都ベオグラード





カレメグダン要塞



カレメグダン要塞



聖マルコ教会

シャバツ市(姉妹都市)



教会

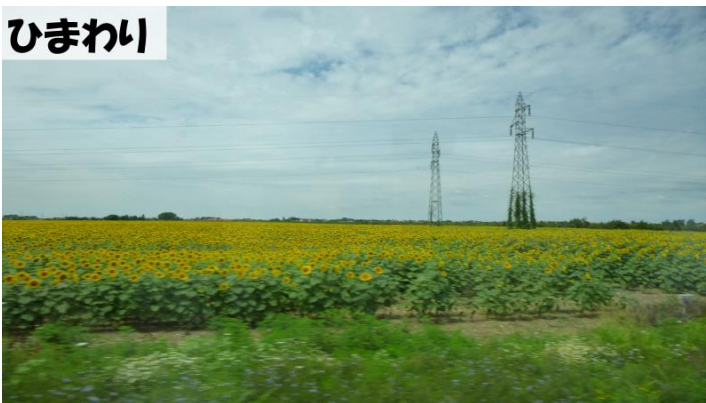


広場



迎賓館

ひまわり



民族衣装



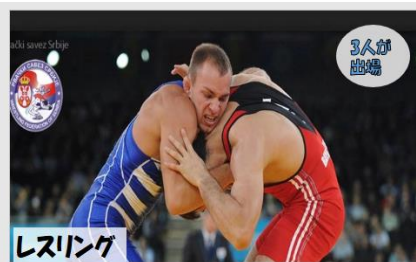
食べ物



- 朝ごはんは、8時ごろに食べる習慣
- 昼ごはんは、15時以降に食べる習慣
- 夜ごはんは、20時以降に食べる習慣
- 日本の主食はお米、セルビアはパン
- 果物と野菜は日本にくらべて安い



スポーツ大国



セルビア語

Србија
Srbija
セルビア

Београд
Beograd
ベオグラード

Japan
Japan
にほん

挨拶

Добар дан – Dobar dan
発音：ドバル・ダン
日本語：こんにちは

Ћао - Ćao
発音：チャオ
日本語：こんにちは/
さよなら

Видимо се – Vidimo se
発音：ヴィディモ・セ
日本語：またね

自己紹介

Ја сам – Ја sam
発音：ヤ・サム
日本語：私は、

Драго ми је – Drago mi je
発音：ドラゴ・ミ・イエ
日本語：はじめまして

文化

- 自転車のベルを鳴らす
- ゴミ箱はどこにでもある（ごみをポイ捨てしないように）
- あまり電車には乗らない、バスが路面電車
- コンビニはない
- お祭りがあまりない「正月、クリスマス、イースター、5月5日」

正月



- 子どもの頃は家族と過ごし、高校生からは友達と一緒にパーティーなどをして過ごす
- 音楽を聴いたり、歌ったりする
- 00:00になると、花火が打ち上がる

5月5日



- 労働者の日
- 仲間でバーベキューをする

クリスマス



- 家で家族と一緒に過ごす
- 特別なパンを作る（パンの中にコインを入れる）